

指定文化財等台帳（国指定文化財）

名称	こしおうじんじゃほんでん 古四王神社本殿	員数	1棟	
分類（種別）	重要文化財（建造物）	指定番号	建第499号	
指定等年月日	明治41年4月23日	時代	室町時代末期	
構造・形式等	一間社入母屋造、妻入、向拝一間、唐破造、こけら葺			
概要	<p>元亀元年（1570）に、領主戸沢氏が、孔雀城主である富樫氏（富樫左衛門太郎勝家）を奉行として建立したと伝えられる。昭和5年（1930）に行われた文部省による解体修理の際に、軒の組物の中に「古川村 大工 甚兵衛」という墨書が発見され、岐阜県飛騨市（旧吉城郡古川町）出身の大工・甚兵衛の作であることが判明した。細部に様々な手法が施されており、室町時代末期の特色が随所に見られる。</p> <p>指定当時、美術建築の最高権威であった伊東忠太博士（東京帝国大学教授）は「奇中の奇、珍中の珍」と感嘆し、後に建築史家の天沼俊一博士（京都帝国大学教授）も「和・唐・天を超越した天下一品の建物」と絶賛した。</p>			
所在地	大仙市大曲字古四王際 地内（大曲地域）		標柱関連情報	
所有者	古四王神社		標柱の有無	あり なし
所有者の住所			材質	石柱 木柱
管理責任者				その他（アルミ柱）
管理責任者の住所			建立者	秋田県
備考			建立年月日	
※ 詳しくは標柱台帳を参照のこと				